

環境経営レポート

株式会社ジオテクノ関西

2023 年度 第 59 期

(対象期間: 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日)



発行日: 2025年1月20日
更新日:

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	10



ごあいさつ

当社は、昭和40年に設立しおかげさまで今年で創立59年になります。

航空写真測量及びデータ処理を主力商品とし地域密着型企业として歩んでまいりました。
これからもお客様、社会の変化に対応すべく誠意をもってお客様から信頼と満足いただける
良質なサービスや商品の提供を行い、社会の繁栄と人々の豊かな暮らしに貢献してまいります。

環境経営方針

環境経営理念

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えています。公共事業に係る地図作成等の事業活動における環境負荷の低減や社会に貢献する製品の開発を目指し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境への取組を推進します。

環境保全への行動指針

1. 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減。
2. 廃棄物の減量、再使用、再生利用の推進として使用原材料の省資源。
3. 水資源の節水。
4. 原材料及び事務用品のグリーン購入の推進。
5. 環境に配慮した製品の販売促進。
6. 環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
7. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

※下線部分を重点項目として取り組む。

制定日：2019年12月8日

更新日：2025年1月20日

改定日：

代表取締役 相原 修

組 織 の 概 要

更新日：2025年1月15日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社ジオテクノ関西
代表取締役 相原 修
- (2) 所在地
本 社 兵庫県西宮市池田町12番20号 AG西宮ビル5階
大阪営業所 大阪市北区天満橋1丁目8番30号 OAPタワー29階
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 営業部 田淵 文雄 TEL：0798-38-8510
担当者 営業部 國友 奈保美 FAX：0798-38-8522
- (4) 事業内容
地図データの作成及び販売
- (5) 事業の規模
売上高 58,777 万円
- | | | | |
|----------------------|--------------------|-------|-------------------|
| | 本 社 | 大阪営業所 | 合計 |
| 従業員 名 | 60 名 | 2 | 62名 |
| 延べ床面積 m ² | 481 m ² | 43 | 524m ² |
- (6) 事業年度 10 月 1 日 ～ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ジオテクノ関西
対象事業所：本 社
大阪営業所

対象外：なし
活動：地図データの作成及び販売

□事業の紹介

★航空計測及びセンシング

航空写真撮影：固定翼・ヘリコプター・ラジコン・UAV 航空写真測量：3次元図化編集
航空レーザ計測：LP・ALB リモートセンシング：衛星写真画像利用

★地上計測 三次元点群測量

基準点測量・境界測量：トータルステーション 真北測量：ジャイロ測距儀・GNSS機
MMS計測
地上レーザ計測・LidarSLAM計測

★空間情報GIS及びシステム開発

公共施設管理台帳整備：道路台帳・上下水道台帳等、各種行政支援システムの構築・開発・改修

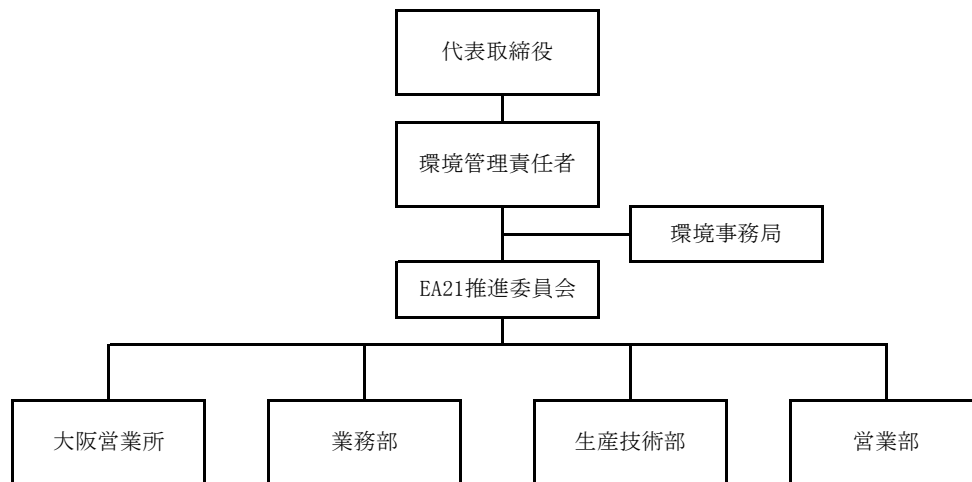
業界トップクラスのアジア航測（株）を親会社に持ち、新しい技術革新と品質向上を目的としながら、近隣地域に密着した事業展開を行っております。

業界トップクラスの高度な技術力を引き継ぎ、大手では届かない小回りの利いた対応を継続して行ってきたことで、信頼と実績を培ってきました。自身の頑張りがそのまま結果へと繋がる達成感を感じていただければと思います。



令和6年6月に公共測量品質管理優秀賞（地図）を受賞いたしました。

環境経営組織及び役割・責任・権限



	役割・責任・権限
代表者（社長）	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会	- 環境経営計画の審議 - 環境活動実績の確認・評価
部門長	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	35,568	35,367	33,599	33,573
Scope1（化石燃料）	kg-CO ₂	9,561	9,352	9,600	8,781
Scope2（電力）	kg-CO ₂	42,703	26,015	23,999	24,792
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	k g	1,249	1,078	1,086	1,107
産業廃棄物排出量	トン		0	0	0
水使用量	m ³	-	-	-	-
※電力の二酸化炭素排出係数は関西電力の調整後排出係数（2021年公表/2019年度実績）		0.318	0.318	0.318	0.318
		関西電力	関西電力	関西電力	関西電力

※水使用量はテナント入居のため把握ができません。

※化学物質は使用していません。

環境経営目標及びその実績

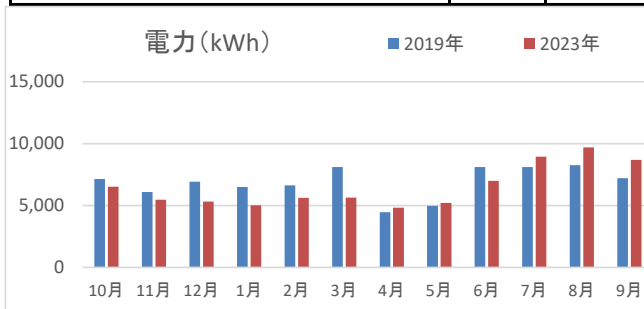
年 度 項 目		2019年度	2023年度		評価	2024年度	2025年度	
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kWh	81,807	78,535	77,961	○	77,717	76,899	
	kg-CO2	26,015	24,974	24,792	○	24,714	24,454	
	基準年度比	-4%	96%	95%	○	95%	94%	
売上高原単位	kg-CO2/万円	0.433	0.415	0.422	×	0.411	0.407	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	9,554	9,172	8,781	○	9,076	8,981	
	基準年度比	-4%	96%	91.9%	○	95%	94%	
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	35,568	34,146	33,573	○	33,790	33,434
一般廃棄物の削減	kg	1,249	1,124	1,107	○	1,124	1,099	
	基準年度比		90%	89%	○	90%	88%	
グリーン購入の推進	% (金額率)	-	50%	39%	×	51%	52%	
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み		行動目標（次項による）						
課題を解決しチャンスを活かす取組		行動目標（次項による）						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	4月から9月を通して、電気使用量が増えてしまった。酷暑によるエアコン稼働率の上昇が考えられる。今後は人数の増加によるエネルギー使用量の増加も考えられるので、節電を心がけることはもちろん、省エネタイプの製品を使用することも検討していきたい。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯、クールビズ運動	○	
・工程ロス削減による稼働時間短縮	○	
・サーバー室エアコン点検チェック	○	



取組紹介欄

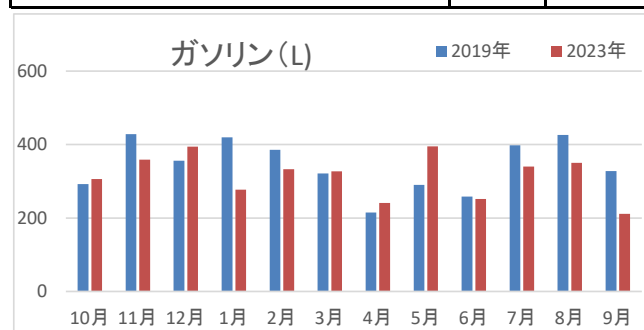


昼休みには消灯を行っており、消費電力の節約を心がけている。2021年は照明のLED化が行われた。

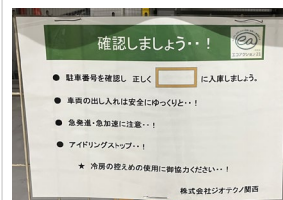


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年	7,149	6,084	6,934	6,495	6,623	8,112	4,453	4,971	8,112	8,112	8,263	7,218
2023年	6,528	5,473	5,310	5,022	5,613	5,646	4,829	5,222	6,991	8,950	9,693	8,682

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標数値9,172kg-CO2に対して8,781kg-CO2であり、基準年度比92%となった。1月～3月の繁忙期であっても、おおむね月次目標を達成することができたのはよい結果となった。今後もエコ運転を継続することで、ガソリン使用量の削減を心がけていきたい。
・アイドリングストップ	○	
・急加速・急停車の防止	○	
・冷暖房の控え目使用	△	



取組紹介欄



車を使用する従業員が特に目につくように駐車場に掲示している。



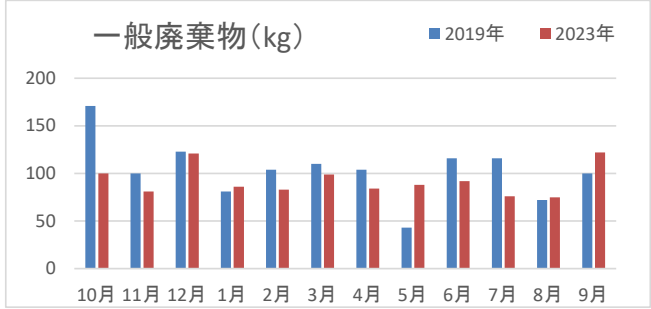
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年	292	428	356	420	386	321	215	290	258	398	426	328
2023年	306	359	394	277	333	327	241	395	252	340	350	211

車両ごとの走行距離と平均燃費												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
プロボックス	4697km	1532km	2992km	3698km	1146km	2309km	1705km	2663km	1445km	1921km	2269km	902km
	99.22L	128.85L	91.56L	126.9L	81.92L	120.32L	66.05L	135.54L	63.33L	29.58L	94.94L	57.79L
	47.34km	11.89km	32.68km	29.14km	13.99km	19.19km	25.81km	19.65km	22.82km	64.94km	23.90km	15.61km
ハイゼット	861km	1251km	1225km	954km	1783km	1453km	576km	2046km	1346km	1517km	1260km	744km
	58.59L	76.2L	81.06L	28.06L	132.87L	100.74L	29.5L	137.41L	87.73L	116.33L	106.1L	60.57L
	14.70km	16.42km	15.11km	34.00km	13.42km	14.42km	19.53km	14.89km	15.34km	13.04km	11.88km	12.28km
ピクシス	1458km	1642km	1623km	1031km	1140km	1234km	1213km	1836km	1419km	1933km	1795km	1808km
	66.6L	58.4L	71.87L	34.64L	49.47L	37.57L	58.98L	54.51L	58.57L	93.77L	70.75L	67.83L
	21.89km	28.12km	22.58km	29.76km	23.04km	32.85km	20.57km	33.68km	24.23km	20.61km	25.37km	26.65km
アルト	1898km	1696km	1967km	1764km	1208km	1635km	1781km	1638km	1032km	688km	1026km	1220km
	81.61L	43.72L	90.92L	66.03L	68.31L	68.78L	86.61L	67.12L	42.39L	43.56L	47.29L	24.63L
	23.26km	38.79km	21.63km	26.72km	17.68km	23.77km	20.56km	24.40km	24.35km	15.79km	21.70km	49.53km

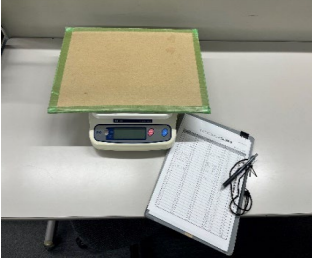
プロボックス	ハイゼット	ピクシス	アルト	全体平均
最大燃費64.94km	最大燃費34.00km	最大燃費33.68km	最大燃費49.53km	23.74km
最小燃費11.89km	最小燃費11.88km	最小燃費20.57km	最小燃費15.79km	
平均燃費27.25km	平均燃費16.25km	平均燃費25.78km	平均燃費25.68km	

給油量と走行距離から平均燃費を算出した。全体の平均燃費は23.74kmとなり、20km/Lを超える結果となり、十分な成果を出せたと感じる。特にプロボックスは唯一のハイブリット車であり、関東をはじめとする超長距離を運転することがある中、平均27.25km/Lの走行ができていた。来期もこの調子で燃費向上に努めていけるように心がけていきたい。

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	今期のゴミ排出量は月平均92kgとなり、基準年度からの排出率は89%と非常に好調となった。客先への電子納品の増加による印刷物の納品が少なくなったことや、生産精度の向上により、印刷による修正確認業務が減少したことが理由と考えられる。来期も目標達成に向けて取り組んでいきたい。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	×	
・見直しによる印刷物の削減	△	
・梱包材の再利用	○	



取組紹介欄



担当課の持ち回りで計測している。ゴミ袋にゴミがいっぱいになったタイミングで廃棄するようにして、袋の無駄遣いをしないようにしている。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年	171	100	123	81	104	110	104	43	116	116	72	100
2023年	100	81	121	86	83	99	84	88	92	76	75	122

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良率低減	○	今期までに顧客からのクレーム・リターン等は無かった。弊社では顧客に見積を提出する際には、必ず実行予算の作成を行い、業務を実施する際には必ず進捗の報告による工程管理や成果物の社内検査を行うようにしている。客先への図面の仮提出や校正にはエコ製品のプロッター様式を使用するようにすることで環境に配慮している。次年度以降も継続してエコ製品を積極的に購入していく。
・稼働率向上	○	
・顧客クレーム削減	○	

取組紹介欄



再生紙



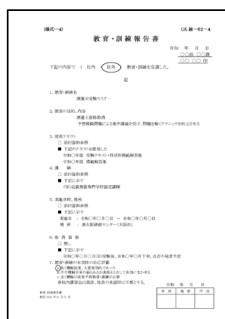
普通紙



ISO9001、27001の認証を取得している。
成果品は認証規格の品質管理規定、情報管理規定に基づいて作成している。

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	前年度に引き続き、社外では講習会やセミナーへの参加と新技術への挑戦を継続し、社内では熟練技術者から若手技術者へマンツーマンで指導できる環境を整備している。また、若手社員も積極的に登用し、全体的に社内が若返っているようになってきたため、柔軟な発想力と行動力で今後も活発に業務展開を行っていきたい。
・働き方改革（法改正の対応と準備）	○	
・新分野への対応と技術者の育成	○	
・電力消費と紙ゴミの廃棄の節減	○	
・リモートワークを利用した働きやすい環境づくり	△	

取組紹介欄



講習会やセミナーを受講した社員は教育・報告書を提出することとしている。
また、講習会やセミナーについてはメールや掲示板を利用して全社員に周知するように努めている。

左：訓練報告書
右：資格試験の掲示

グリーン購入への取組

取組紹介欄

2023年度 グリーン購入比率目標：50%

母数	23,068	94,863	178,835	103,179	49,708	65,354	47,327	28,297	41,386	40,284	78,928	80,893
グリーン購入	17,237	11,900	38,727	50,170	24,158	55,325	38,146	17,629	22,980	14,122	15,676	16,378
比率	75%	13%	22%	49%	49%	85%	81%	62%	56%	35%	20%	20%
評価	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×

取組結果とその評価、次年度の取組計画

前年度の購入費率が44%であったが、今期は39%と大きく数値を減らし、目標を達成することができなかった。目標を達成している月、達成していない月の達成率に大きく差のあるため、今後改善できれば考える。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の簡易点検の実施及び記録の保存
小型家電リサイクル法	冷蔵庫・モニターの適正廃棄
家電リサイクル法	小型電子機器のリサイクル
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局からの違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

苦情等はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023/12/6	■実施場所 AG西宮ビル
■参加者： 従業員23名参加	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 ビル全体での合同訓練。火元を各階に設定し各階の通報係、消火班、誘導避難係が中心に声掛けをして非常階段を利用して1階へと避難する。1階では、人数確認、消防局の講評、消火器の使い方などの説明実演など実施。	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
誘導係りの合図でスムーズに無駄話もせず避難できた。	
■実施状況の様子	
14:00 通報訓練 火事発生（4階新井組様） 14:00 避難訓練 避難（各階から1階へ） 14:02 消火訓練 初期消火活動（4階新井組様） 14:09 避難訓練 避難等完了確認（1階ゴミ集積場横空地） 14:11 講話 消火器の操作訓練 14:20 講評 消防訓練の講評 14:30 解散 ※同日、避難訓練終了後、消火器の有効期限を確認した。（有効期限：2026年末）	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2025年1月20日

- 1) 二酸化炭素では空調、LED照明導入、消灯、自動車燃費についてハイブリッド車やエコ車の導入による動力削減効果が出ているので、継続していく事が重要である。
- 2) 廃棄物については、年々削減する意識が従業員へ伝わり評価できる、従業員皆で協力し合っている。
- 3) グリーン購入及び環境配慮製品（再生紙）についても、定着し評価する。引き続き推進していく。
- 4) 水量削減については、張り紙等による節水の為の啓発活動を引き続き行っていく。
- 5) 継続していく事が重要であるので、推進者による啓発活動を引き続きお行い従業員に周知していく事。
- 6) 環境に配慮した動きが社内に浸透し、良い成果が得られ評価する。但し、夏季時期については、それぞれについて数値が上がってきているので油断せずに注意をすること。

代表取締役 相原 修

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制他

☒ 変更なし
☒ 変更なし
☒ 変更なし

☐ 変更あり
☐ 変更あり
☐ 変更あり

2023年10月1日より組織編制の変更あり。

これまでの環境活動の紹介

淀川わんどクリーン大作戦 (2023. 10. 15)



ジオテクノ関西として、1名が参加。淀川周辺のゴミ掃除を実施しました。



エコキャップの回収は引き続き実施しています。
55期から58期までの段階で累計19,823個のキャップを回収しました。今後も継続して回収してまいります。



節水を心掛けるように張り紙をしています。

□編集後記

今期は特に、ガソリンの燃費向上に良い結果を残すことができました。ごみの排出量も年々削減しており、テナントビルで古紙の分別も始まりました。分別により、さらにごみの排出量削減も期待できそうです。今後も意欲的に取り組んでいきたいと思います。